【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公開番号】特開2013-231602(P2013-231602A)
【公開日】平成25年11月14日(2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-062
【出願番号】特願2012-102259(P2012-102259)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　33/15　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　1/10　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/44　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　71/16　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/52　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　21/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　33/15　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　1/10　Ｄ
Ｃ０２Ｆ　1/44　Ａ
Ｂ０１Ｄ　71/16
Ｃ０２Ｆ　1/52　Ｅ
Ｂ０１Ｄ　21/30　Ａ
Ｇ０１Ｎ　1/10　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月9日(2015.1.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被処理水にＡｌ系、Ｆｅ系の少なくともいずれかの凝集剤を添加し、
前記凝集剤が添加された凝集処理水を、評価用ろ過膜を用いてろ過し、
前記評価用ろ過膜の未利用凝集剤成分のみによる膜閉塞度を測定し、
前記凝集剤の凝集能を評価することを特徴とする凝集能評価方法。
【請求項２】
前記評価用ろ過膜は、酢酸セルロースからなることを特徴とする請求項１に記載の凝集能評価方法。
【請求項３】
被処理水へＡｌ系、Ｆｅ系の少なくともいずれかの凝集剤を添加し、凝集処理水を得る凝集剤添加手段と、
前記凝集処理水を評価用ろ過膜でろ過して未利用凝集剤成分のみによる膜閉塞度を求め、前記凝集剤の凝集能を評価し、該評価結果に基づいて、前記凝集剤添加手段による前記凝集剤の添加量を調整するフィードバック制御手段と、
前記フィードバック制御手段により前記凝集剤の添加量が調整された凝集処理水をろ過して膜分離装置に供給するろ過装置と、
を備えたことを特徴とする凝集処理装置。
【請求項４】

前記フィードバック制御手段は、
前記評価結果により、前記膜閉塞度が小さい場合は前記添加量を多くし、前記膜閉塞度が大きい場合は前記添加量を少なくする様に、調整することを特徴とする請求項３記載の凝集処理装置。